

清 友

No.117

2019年5月

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



小石川後樂園内庭のスイレン

憲法集会

いま変えるべきは憲法
ではない！安倍政権だ！



6万5千の人で会場はギッシリ



主催者挨拶をする高田健さん



パネル・パフォーマンス

集会では、自民党改憲案の問題点と危険性が次々と指摘されました。自民党案による「教育拡充」は、現行憲法で定めており教育基本法等で充分対応できる、「防災対策強化」も現行法で緻密に定められており法改正で十分対応が可能、要するに9条3項として「自

衛隊明記」による9条の事実上の否定にこそ狙いがありますが、1条の天皇条項と9条はセットとして定められた経緯を踏まえれば、防衛省の下部組織である自衛隊が明記されることで、構成上、憲法に明記されていない防衛省を飛び越えて天皇条項に並ぶこと

改憲賛成意見の減少に焦る安倍政権は天皇代替わりや改元を政治利用し、憲法改悪に突き進もうとしています。無理矢理つくられた10連休後半の5月3日、有明防災公園で「憲法集会」が開かれました。昨年を上回る6万5千人が参加（退職者会も昨年を上回る17人）、全国各地でも集会が行われ、憲法改悪を許さないという強い想いを固めました。

になるという矛盾が生じます。安倍政権の危険な意図は見え見えです。改憲よりも、日本の社会を覆う差別と貧困を解消する政策の方が重要と集会で指摘がありました。「いま、変えるべきは憲法ではない！安倍政権だ！」が、集会参加者の共通認識になりました。

第5回会 事(臨時)

**送料値上げに伴う東京
清掃交付金の変更、春
の行事の反省と今後の
課題、新たな行事検討**

4月23日に第5回幹事会(臨時)と専門部会を開き、次のことを検討し、確認しました。

春の行事総括・参加者を増やす工夫が必要

2月2日の新春の集い、2月7日の演芸鑑賞会、3月5日の学習交流会、3月26日のお花見ウォークなど春の行事

送料の値上げに伴い東京清掃交付金を修正

クロネコDM便が倍額に

皆さんへの資料送付に使っていたクロネコDM便(A4版2cm厚まで送付可)の送料は82円でしたが、4月から倍額の164円へ値上げされました。この値上げにより定形外郵便(100gまで140円)の方が安くなりますので、郵便利用を基本とし、財政の負担増を考慮して、いろいろ工夫します。

東京清掃機関紙送付は?

送料値上げで、東京清掃機関紙「せいそう労働者」の送料負担の問題が生じました。東京清掃の好意で、機関紙「せいそう労働者」が退職者会会員に提供されていますが、送料は東京清掃負担です。クロネコDM便なら退職者会資料を同封しても金額が変わらないので、結果として、東京

の反省と課題を検討しました。最近、各種行事・行動参加者の固定化傾向がみられます。行事の種類・企画・運営等を柔軟な視点で見直し、会員以外の仲間に参加してもらう方策を検討することにしました。

新たな交流行事の検討に着手・克服課題多し

仲間を増やす方策として、新たなレク文化行事を実施できないか、前回の幹事会から検討を始めました。新たな行事として候補に上がったのは、ゴルフコンペ、囲碁・将棋大会、カラオケ大会、釣り大会、卓球大会、健康麻雀などですが、実施にあたってのリーダーを誰が担うのかを見いだせないなど難題が多く、いい方法が見つかりません。会員のみなさん、いいアイデアはありませんか。



清掃機関紙を送る月は東京清掃に負担してもらっています。

東京清掃機関紙単独送付は82円か92円で済むので、資料同封による差額は退職者会が負担すべきです。4月から次の措置を採ることにしました。
①「東京清掃機関紙」は従来通り退職者会資料同封で送付、送料は退職者会が負担する。
②「東京清掃機関紙」の送付に要する経費分を東京清掃交付金に上乗せする。



春の学習会②

●開催日 5月22日(水)

13時開始

●場所 清掃会館ホール

●テーマ 「遺言と相続」

●講師 税理士 鈴木祐輔さん

※午後3時から懇親会。

個別相談も可能です。ご家族同伴で参加ください。



第12回定期総会

●開催日 6月14日(金)

10時受付開始

10時15分開会

●場所 清掃会館ホール

※お昼から懇親会

※出欠の連絡は「返信用ハガキ」で。欠席される方は「委任状」にサインしてください。

※総会議案書は6月にお送りします。

東京清掃中里委員長インタビュー

「労働組合があつてよかった」と組合員が思うような労働組合を目指し、組織強化と社会貢献を図りたい

3月24日に開催された東京清掃定期大会で16代委員長に就任されました。清掃工場出身者として初の委員長ですが、苦労とか気を使うようなことはありませんか。

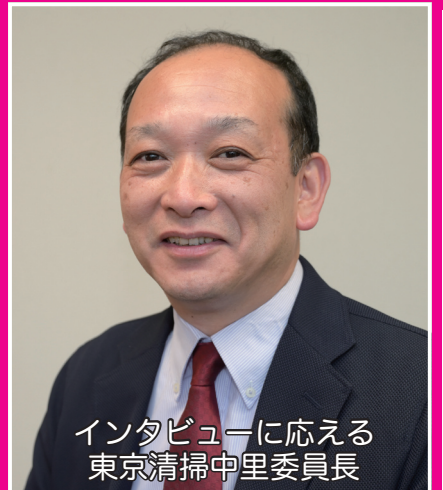
その辺は特に気になりませんし、気も使っていないです。

むしろ、工場の問題を発信しやすいようになったという感触があります。清掃事業は収集・運搬・処理・処分の一体的運営により成り立っていますが、清掃工場の課題も全体に浸透してきて、各区交渉にも幅が広がる等の効果も出ています。少し違う視点ですが、東京清掃は現業労組である一方、実態は混合労組の面もあります。行政職の置かれた状況を

理解することは東京清掃に良い影響をもたらすと思います。

昨年、理不尽な給与マイナス勧告の実施を撤回させた賃金確定闘争と、東京都行政部発通知を端緒に総務省退職不補充方針を事実上撤回させるに至った取組みは極めて大きな成果でした。

大幅マイナス勧告は、無理な人員削減による歪みと行政職の職責の高まりで上位級への昇進を希望しない傾向が広がり、人事制度を改正せざるを得なくなったことが背景です。社会的影響を考慮した区長会の歴史的判断はありましたが、特区連との緻密な連携と全組合員が必死になって取り組んだ成果です。



インタビューに応える
東京清掃中里委員長

退職不補充に関わる東京都の通知は、国からの圧力がトラウマ化して残った影響でしょう。自治労を通じた総務省交渉で「退職不補充方針の不存在」を確認し、自治労全国レベルの闘いに力を与えることができました。新規採用獲得の弾みになります。

東京清掃の現状は区移管当事と比べ、組織人員は半減しています。新規採用獲得の闘いと組織強化の取組み方をお聞かせください。

新規採用の獲得は、東京清掃の最重要課題です。災害対策は自治体の責任であり、人材育成が求められます。業務のノウハウ継承には、経験豊富な人材が必要です。

区移管以降、7区で新規採用がありません。集中的に対応しており、政治的な関係も含めて取組みを進めています。新規採用を行っている区は職場が活性化します。先輩になることで若い人も育ちます。

東京清掃は、所謂社会的労働運動の推進を大きなテーマに掲げています。下請・民間・非正規労働者支援の闘いを含めた今後の取組み方をお聞かせください。

正直、組織力は落ちています。社会の動向や他の運動を知ることが重要です。組織内の運動だけでは発展しません。各行動に参加することで理解が深まり、視野も広がります。そこを重視しています。

雇上会社も非正規化を進めた結果、事業運営の連続性に支障をきたす事態となっています。委託・非正規労働者の労働条件は極めて劣悪です。東京清掃はそのことを自らの課題と認識し、下請関連協との共闘や各区交渉等で委託労働者の労働条件改善を求める取組みを進めています。

「宇宙物理学部」第4回イベント

調布の航空宇宙センター見学

4月12日、宇宙物理学部は第4回イベントとして「JAXA調布航空宇宙センター」を見学しました。前回イベントの参加者は3名で、消滅の危機かと案じられましたが、今回の参加者は何と9名。3倍増の勢いです。

期待していた「はやぶさ2」に関する展示がまだ用意されていなかったことは残念でしたが、日本の航空宇宙技術の

最先端を垣間見ることができて、有意義でした。

研究機関であるため、静かなたたずまいでのんびりした雰囲気でした。無料のところもよかったのですが、見学施設は特別な日を除いて展示室1棟しかなく、展示物もお台場の科学未来館等と比べるとかなり貧弱なものだったことに物足りなさを感じました。そんな中でも、宇宙ステー

ションや月への飛行を疑似操縦体験できる展示物の「スペース・ミッション・シュミレーター」は非常に面白く秀逸でした。小林機長と駒井操縦士コンビによる運転で、参加者を宇宙ステーションや月面着陸へ導いてもらいました。操縦ミスもあって危機的運行を強いられたりもしましたが、結果的には無事地上に降り立つことができた拍手喝さい。冒険旅行を堪能できました。

また、YS-11のコクピット展示では、全形が初期の新幹線と同じデザインとなっており、航空機と新幹線の共通点なども良く分かりました。

見学の後、三鷹駅前の居酒屋で反省会を行い、次のイベントの話になりましたが、

酔い状態になりながらも、十分な討議ができました。次の企画は現在検討中です。要望があればどうぞ。(箱田)



スペース・ミッション・シュミレーター
(小林機長が運転中)



月面着陸成功の瞬間



国立博物館附属自然教育園

5月14日に「歩こう会」の「ガイドと歩く自然教育園」が行われます。自然教育園・庭園美術館・池田山公園・ねむの木庭園・八芳園か明治学院大学をめぐるウォーキングです。自然教育園正門前(目黒駅徒歩9分または白金台駅徒歩7分)に、午前9時50分集合です。参加を希望する方は至急連絡してください。

5月14日
ガイドと歩く
自然教育園

意図的に演出される「新元号」フイバー 「新元号で新時代？」元号史観の危険性

■国民は天皇を代えられる

「天皇の地位と主権在民」を定めた憲法第1条は、「天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く。」と謳われています。「国民は天皇の地位も決めることができる主体」であると解釈されています。

■改元で時代が変わる？

天皇の代替わりに際し、マスコミは「新元号で新しい時代になった」調のムードを洪水のように流しています。「元号が変わると時代が変わる？」。改元で時代を区分することは何を意味するのでしょうか。



■元号史観の危険性

「元号」は、「皇帝は時間を支配する」という中国の王権思想を起源とし、皇帝（天皇）による支配の手段でした。社会不安やたたりを恐れての改元はかなりの頻度でありまし

たが、「二世一元」制が導入された明治期から、支配構造の本質が一層顕著になりました。ちなみに、明治天皇即位時には改元されていません。

元号と時代を結び付け、改元によって時代を区分する考え方「元号史観」は、「天皇を事実上の国家元首」に祭り上げ、神的存在とすることにつながる極めて危険な兆候です。

■「令和」は上から目線

新元号「令和」は、海外で「令」がオーダー（秩序、命令、順序）と翻訳され、政府は大あわて、「ビューティフル・ハーモニー（美しい調和）」とこじつけました。政府や御用学者は「令」を美しいや麗しいを意味すると説明しています。令嬢の「令」ですが、支配層による上から目線の言葉に過ぎません。このような元号を有り難がることは、権力への服従に甘んじる態度ではないでしょうか。



「組合差別」解雇を許さない！



改憲発議強行を許さない！

4月の国会前19日行動では、萩生田自民党幹事長代行の「憲法審査会は丁寧に我慢してきたのに開けない。新しい時代になったら、少しワイルドな憲法審査を進めなければいけない」発言に対する怒りの声が集中しました。上智大学教授の中野さんは「改憲アクションを吹かすのは迫られている証拠」と指摘する一方、「改元を契機にした改憲発議の危険性」に注意を喚起しました。萩生田発言は失言ではなく、確信犯です。安倍改憲発議を葬り去るため、頑張りましょう。

「銀座の皆さん、私たちはユニテッド航空の客室乗務員です。日本人組合に入っているだけで、ピンポイントで解雇されました！」。世界最大手航空会社ユニテッドは、アメリカの組合に入っていないかっただけの理由で日本人労働者を解雇しました。4月12日、「解雇自由の国にするな」と、ユニテッド闘争・銀座デモに集まった支援の労働者は550人。日本語のシュプレヒコールと英語のマイクアップルを交えて銀座をデモ行進し、とりわけ、外国人の注目を集めました。



日比谷 メーデー

インターナショナルな連帯を求めて

5月1日、好天に恵まれた本来のメーデーの日、日比谷メーデーが開催され、約6千人が結集しました。式典開会のパフォーマンスに青年部が登壇し、今年も東京清掃は中心的役割を果たしました。

新天皇即位と「改元」の祝賀ムードを政府・マスコミ一体で盛り上げようとする反動的風潮に抗し、式典の冒頭で「インターナショナル」を歌い、

国際連帯を訴えました。

集会では、一方的解雇など資本による不法・不当行為や、非正規、移住労働者をはじめとするあらゆる差別に抗し闘う姿勢をアピールし、安倍政権打倒が強く訴えられました。

退職者会は過去最多の25人参加、東京清掃本部・青年部などの梯団で退職者会旗を高く掲げ、全参加者が元気に鍛冶橋まで行進しました。



中央メーデー

昨年につき、ステージを会場の真ん中に設営して四方から見える斬新な構造をアピールしましたが、式典は1時間未満で終わりました。お祭り気分がますます強まりました。

90回目の中央メーデーは、4月27日、「格差をなくし平和を守る！笑顔あふれる未来をつくろう、すべての仲間の連帯で！」をメインスローガンに代々木公園で開催、退職者会は代表参加で対応しました。

